



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」  
“Action” 「アクション」  
「為せば、成る」 No challenge No fruits  
「未来はそれに備える人のものである」  
「入りたいな」と思われる楽しい会に

### 2018年12月号

NO 507

言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。  
光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

ヨハネによる福音書 1章4～5節

## 新たな時代に向けて

担当主事・木川 拓

今年度から担当主事の役割を  
仰せつかりました。ホテル学校勤  
務 9 年目にして初めての経験。  
YMCA 全体の取組みにはまだまだ  
自身も学ぶべきことも多く、皆  
さまのご協力の元に YMCA の活  
動報告を行わせていただきました。  
東京西クラブの皆さまに温かい  
雰囲気迎え入れていただけたこ  
とには本当に感謝申し上げます。  
先に向けての自身のやるべきこ  
とはもっとクラブメンバーの  
方々との交流を深め、自身を知  
っていただき、そしてクラブの活  
動を知ることが大切だと思っ  
ております。YMCA の取組みを共有  
させていただくと共に、皆さまの  
ご意見をお聞かせいただくこと  
が改めて担当主事の働きかと思  
っております。

今後は今まで以上に多くの時  
間を共有させていただき、一緒  
に皆さまと楽しむことが担当主  
事として、まず私ができること  
であり大切なことだと思ってい  
ます。

2019 年、新たな年を迎えます。  
YMCA としては 3 月に山手会館  
が耐震工事を終了し、リニューア  
ルオープンをいたします。建物自  
体が安全かつ綺麗になることは  
もちろんですが、1 階フロアは仕  
切りを無くし、皆さまの声がよ  
り伝わりやすい構造になります。  
スタッフたちはより会館を地域  
の方々を知っていただくこと、利  
用者の方々喜んで使っていただ  
けるように、今から準備を進め  
ております。日本全体の大きな動  
きとしては天皇陛下が退位され、  
「平成」が終わりを迎えて新た  
な元号が決まります。そしてま  
ず訪日外国人旅行者は増加し、  
2020 東京オリンピックを目前  
に控えることでより「日本」が  
世界中から注目される年になる  
ことでしょう。身近なこと、そ  
して国としても共通してより多  
くの「つながり」がテーマにな  
る年になると思います。皆さま  
と共にいい年にしたいと思いま  
す。

## ゆったり、江古田の師走を歩く WHOウォーキングのご案内



「たきび」の歌発祥の垣根の曲がり角

私鉄沿線のごく普通の駅を出  
ると、思いがけない見どころが次  
ぎ次ぎに現れます。

太田道灌の古戦場跡、徳川吉宗  
の鷹狩りの際の膳所、鉄道模型の  
ショールーム、童謡『たきび』の  
発祥の地、郷土資料館、百か所の  
札所の観音像の模像などなど。

師走の町を、われらはゆったり  
と歩きます。

期 日：12月15日(第3土曜日)

集 合：西武新宿線・新井薬師駅

改札前 9:45

解 散：同沼袋駅 14:30

参加費：300円交通費は個人負担

### クラブ役員

会 長 本川 悦子  
副 会 長 高嶋美知子  
書 記 石井 元子  
会 計 河原崎和美  
担当主事 木川 拓

11月の記録		ニコニコ	4,620円
在籍者数 15人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	0円
出席者数 10人	コメント 0人	ファンド残高	151,534円
メーカーキャップ 2人	ビジター 4人	ホテ校ファンド	1,745円
出席率 93%	ゲスト 4人	ホテ校残高	58,399円
前月修正 -	出席者合計 19人	WHO参加者	30人

## 12月クリスマス例会のご案内

## 今月の強調テーマ：EMC/M

早いもので本川会長の2期目も半年が過ぎようとしています。

この12月の例会はクリスマス例会として開催されます。ここで振り返り、皆さんで楽しくこれからのクラブ活動を語り合いたいと思います

日時：12月20日(木) 18:45~21:00

会場：高嶋美知子さん宅(5階)

(杉並区堀之内1-8-9 TEL03-3317-5596)

会費：4,000円(参加者すべて)

担当：C班(山田、大野、村野、神崎)

## HAPPY BIRTHDAY

4日 神谷 雅子

15日 吉田 廸子

18日 村野 絢子

開会点鐘

ワイズソング

聖書朗読・感謝

挨拶・ゲスト&ビジター紹介

クリスマスメッセージ

諸報告

YMCA 報告

会食

ハッピーバースデー

ニコニコ

閉会点鐘

受付 村野 絢子  
司会 大野 貞次

会長 本川 悦子  
一 同

大野 貞次

本川 会長

神崎 清一

本川 会長

担当主事・木川 拓

一 同

本川 会長

一 同

本川 会長

## -11月第2例会(事務会)-

日時：11月22日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並

出席者：石井、大野、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田

<報告事項>

- ①11月のデータを確認した。
- ②11月の月次会計報告を承認した。
- ③WHO 高尾山行きは、東京八王子クラブの久保田貞視さん、長谷川あや子さんの応援を得て、無事終了した。  
当日の雑収入5,000円は、東京YMCA 熊本地震緊急募金に贈った。
- ④WHO は開始して21年を迎え、参加者の世代交代があり、参加者の参加動機、意識にも変化があり、新しいルール作りの必要性が報告された。
- ⑤あずさ部長公式訪問が、1月に決定した。

<協議事項・例会関係>

- ①12月クリスマス例会は、高嶋美知子さん宅で、6時45分から開始される。会費は4,000円。クリスマスメッセージを神崎清一さんをお願いする。

- ③1月例会の卓話候補に東京多摩みなみクラブの深尾香子さんが挙がった。本川会長が折衝する。

<協議事項・例会以外>

- ①篠原文恵さんが、次期会長候補を受諾した。12月例会で次期会長として決定する。
- ②次期会長決定に伴い、ブリテン編集の後任を含めて、編集方法、紙面構成、新企画などが話し合われたが、結論は出なかった。継続検討となる。  
根底に、編集スピードと原稿不足があることから、メンバー全員が担当月を決めて、随筆を書くことが決まった。
- ③BF 使用済み切手の管理は、村野絢子さんが行い、整理はメンバー全員で行う。
- ④当クラブは東日本区大会で、ホストクラブ(東京サンライズ)

の御園生好子さんの要請により、受付を担当する。

## 12月以降の行事

- ▲2019年1月5日(土)  
在京ワイズ合同新年会(ホスト・東京多摩みなみ)  
会場：京王プラザホテル八王子
- ▲2019年2月9日(土)  
第2回あずさ部評議会(ホスト・東京八王子)  
(書記・石井元子)

## クリスマス例会でカードを!

IBC 台北中央クラブへのクリスマスカードに、12月例会でみなでサインしましょう。アジア太平洋地域大会実行委員長、山本剛史郎さんから、大会参加を呼びかけて欲しいとの要請もありました。

WHO情報が  
簡単に得られます

今月のWHO ウォーキングのコースの予定と、前月の報告が、パソコンやスマホで、写真入りで見ることが出来ます。

<http://tokyo.ymca.or.jp/community/2018/1/20181129-01.html>





「紙芝居は人生だ！」と語る中村ルミ子さん  
 実演に先だって、紙芝居の舞台を前にして

## －11月例会報告－

11月例会は定例第3木曜日18:45から荻窪ウエルファーム杉並にて行われました。

この日の卓話者は、中村ルミ子さんをお招きして「紙芝居は人生だ！」と題して中村さんの創作になる紙芝居4編を演じていただいた。

演目は、第1「もも子さんとオレオレ詐欺」、まさに時世に即したテーマで、だまされない心構えをしっかりと叩きこまれる仕掛けが施されていました。地域の警察署から感謝状をいただいたそうです。第2「40年目の春」、倦怠期を迎えようとしているご夫婦の人生紙芝居。思い当たる節、少なからずあったのではないのでしょうか。

第3「いのち輝け！夢之丞（ゆめのすけ）」、飼い主に捨てられ処分場に入れられた子犬の夢之丞、処分されるのを待つ身であったが災害救助犬を育てる団体に引き取られ、失敗を繰り返しながらも訓練を重ねついに立派な災害救助犬として、そのいのちを輝かせた子犬の物語。

無為に処分される動物のいのち、災害救助犬に助けられたいのち。いのちの大切さをつぶさに語りかけた秀作。

第4「おっばい山」、生まれたときから成人に至ってもなお女性のおっばい大好きな秩父の山奥のおとぎ話。大人向けのたのし

い童話。

この4編は、いずれも短編ではあるが噛めば噛むほど味が出てくる作品ばかり。楽しくかつ人生の機微に触れることのできたひとときでした。中村ルミ子さん、有難うございました。

中村ルミ子さんは、「かみしばい&どうわ」を創作し出版活動を展開しているNPO法人「じおすおはなし・てづくり☆ねっと」を主宰する創作童話作家。1991年から2018年までに多数の作品を発表し、活動を続けておられるとのことでした。

なお、中村ルミ子さんを知ったきっかけは、私が、今年3月、東京サンライズクラブの例会に参加したとき、たまたま、卓話者が中村さんで、早速わがクラブでもお話しいただきたいとお願いし、快諾を得て今回実現した次第。

今回の例会には、前月にもゲストとして参加されたご夫妻がおられたが、本当に嬉しい限りと思えます。（神谷幸男）

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、高嶋、鳥越、木川、村野、本川、吉田、＜メネット＞神谷、＜ビジター＞深尾香さん・安藤慎次さん（多摩みなみ）、御園生好子さん（東京サンライズ）、大澤和子さん（所沢）、＜ゲスト＞中村ルミ子さん（卓話）、中村雅昭さん、渡辺泰次さん、渡辺宣子さん、＜メーキャップ＞神崎、篠原

○国際ホテル学校の2年生は12月に海外研修へ出発します。今年はシンガポール・香港7日間、シンガポール6日間、タイ5日間の3コースに分かれて参加。現地では一流ホテルへ宿泊し、近年増加傾向にある東南アジアからの訪日外国人出身国である異文化に触れて、多くの刺激を体感してきて欲しいと願っています。

○11月14日、YMCA 東山荘チャリティーゴルフ大会が富士カントリークラブで開催されました。地元御殿場の方をはじめ、全国各地から64人の方々が参加されました。チャリティーゴルフの益金は総額399,963円となり、いただきました益金は、東山荘を訪れる青少年たちに、より良い環境を提供するため、環境整備に使わせていただきます。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

○現在、改修工事中である山手会館をより多くの地域の皆様に知っていただくべく、山手勤務の職員によるプロジェクトチームを発足しました。会館活性化・交流チーム、地域活動・発足チーム、情報発信チーム、放課後等デイサービス推進チームの4チームにて4月以降、より多くの方々に山手会館、そしてYMCAの取組みを知っていただけるよう、努めてまいります。

（担当主事 木川 拓）

## 新年例会の予告

2019年度の初例会に、広瀬健あずさ部長の公式訪問があります。部長は、東京西クラブのメンバーとの直接の意見交換を望んでおられます。

卓話は、先月来会された東京多摩みなみクラブ・深尾香子会長の「茶の湯の伝統と革新」です。

言葉による「初釜」の雰囲気も味わいましょう。



高尾山・医王院有喜寺で、日中1時間半  
ごとに行われる御摩修行に向かう僧侶

## 秋冷、秋景の高尾山山行

### WHO11月例会報告

11月20日は、標高599mの高尾山。WHOにとっては、「エベレスト」とは少し大袈裟ですが、慎重に準備して臨みました。混雑を避けて火曜日に実行し、東京八王子クラブの久保田貞視さんと長谷川あや子さんにガイドを頼みました。久保田さんは高尾山歴30年、長谷川さんは15年。毎月、登っています。

京王線高尾山口駅に集合したのは30人。今回は、これまで参加経験のある方に限りでしたが、いつもとは顔ぶれも雰囲気も行動も若干違いました。

ケーブルカーは、130人乗りで7分間隔の運行。前の週の金曜日は50分待ちだったそうです。この日は20分ほどで乗車。日本一のこう配を一気に471m地点へ。

まずは、高尾山の概要の説明を聞き、3グループに分かれ、自信のある人は後ろを歩くことにしました。先頭は久保田さん、長谷川さんには、スノーパーを務めてもらいました。コースタイムはアバウト。昼食は頂上で食べる、復路は、薬王院で2時の御摩修行を観るという2点だけを決めていました。

往路は、ひたすら歩け歩け。高尾山は、古来、信仰の山であり、

時の権力者、国家によって保護されてきましたから人手が加わらない自然林。さまざまな樹木があり、全山がモミジで染まることはありません。それぞれの樹々が秋の彩りを見せていました。

女坂を上り、仏舍利塔、薬王院を過ぎます。薬王院は、744(天平16)年、真言宗の僧行基による開山、1376(永和2)年、飯綱権現信仰による中興によって広まったとのこと。現在は、真言宗智山派の総本山の有喜寺です。

混雑の頂上で昼食。午後1時で8℃。足元から寒気が。ゆったりした下り坂を薬王院へ。余裕をもって、ほら貝の音とともに鮮やかな色の袈裟を付けて御摩修行に入る僧侶たちを見ることができました。

ケーブルカーで下山、解散しました。歩行はケーブル高尾山駅と頂上往復3.6kmでした。

(吉田明弘)

ワイズ関係の参加者は、吉田(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、関(石巻広域)、久保田・長谷川(東京八王子)

## 奈良 信さんとの交友

奈良信さんが2018年11月8日、午後6時25分召天されました。95歳でした。

奈良信さんとの初めての出会いは、確か1980年代に南東部会が国際基督教大学のキャンパスで開催された際、偶々席が近くであったので2、3言葉を交わした時と記憶している。

当時は小生ワイズ駆け出しの新人、先方は多方面で活躍されている大物、ワイズにあっては第19代日本区理事、他国際関係にあっては国際副会長の要職を歴任にされていた方であったのでそれ以上のお付き合いはありませんでした。

その後1993年に京都で開催された国際大会を契機として東京武蔵野クラブのメンバーであった海老澤義道さんの提唱によって、言語の国境がない「歌」を歌う会を海老澤義道さんが牧する東京中野にある江古田教会で開くこととなった。歌唱リーダーとして明治、大正、昭和初期の童謡、唱歌に造詣の深い奈良信さんをお願いした。外国人が去った後も、高齢者男女の人气が高まっていたこの会「童謡唱歌を歌う会」は半年に1回程度、毎回70~80人を集めて盛会であったとのことでした。

われわれ夫婦はその数年後、東京武蔵野クラブのメンバーに誘われてこの会に参加するようになって、奈良信さんが病に倒れら

れるまでの約20年間「童謡唱歌を歌う会」を通してお付き合いさせていただくことになったのです。われわれ夫婦は常連であったためか何となくこの会の中核メンバーとなってしまう、数人のメンバーが歌の会ばかりでなく食事会や小旅行、山中湖畔の別荘に夏・冬お邪魔するようなお付き合いになりました。

今年病に倒れられて施設に入所されたときにも何回かお会いしたいと思いましたが、その機会に恵まれず残念に思っています。

今は天国に在って神様、イエス・キリストに抱かれて安らかなときの中にあることと存じます。ご家族、特に玲子夫人のご健勝をお祈りいたします。

(神谷幸男)

## ☆☆ インタビュー ☆☆ 小倉恵一さんに聴く

\* \* \*

甲府クラブの小倉恵一さんは、今年の7月1日に施行された「東日本区定款」に定款見直しワーキングチーム（WT）の委員長としてかわり、現在も定款改訂委員会副委員長です。（吉田明弘）



一定款改訂には、ずいぶん長く関わられることになりましたね。

「そうですね。改訂作業は、2013-14年度文献・組織検討委員会（辻剛委員長）の時に渡邊喜代美理事に定款改訂の提案書と実施体制、組織についての答申書が提出され、区役員会の承認を経て具体的に改訂定款のタタキ台を作るWTが発足しました。それから足掛け3期11回におよぶWT会議を経てタタキ台が完成し、2016-17年度に定款改訂委員会（辻剛委員長）に拡大承継して、多くの方の熱いご意見をいただきながら醸成されて行きました。新たな「前文」から始まる定款は、辻委員長・田中博之書記をはじめ、ワイズの活動が大好きで、将来を想う多くの皆様の熱意の賜物と思います。施行されて感無量です」

—税理士という法律と関係された仕事をされているので、やりよかったですのではありますか？

「法文を読む事は苦ではありませんので、旧定款との比較や形式を整えるという意味では役に立てたと思いますが、ワイズ独特の行事や役割を熟知している訳ではないので、早合点してメンバーの皆様に迷惑をおかけしたことも多くありました」

—税の仕事は学校を卒業して、すぐに就かれたのですか。

「はい、学生時代から方向を決めていたので、まずは勉強と、税務署に勤め、42歳で独立しました」

—お客さんは、ゼロから開拓されたのですか。

「はい。出身地（甲府）で開業したので同級生や友人の紹介もあり、何とかスタートできました」

—数年前に、区の会計監査と一緒にやったとき、小倉さんの伝票をめくる速さに度肝を抜かれて、会計監査は、絶対に素人がやるべきではないと痛感しました。

「それは、仕事ですから。要領（監査のポイント）もありますし、慣れだと思えます。あの時は吉田さんから親しくワイズのことを教えて頂き、有難うございました」

—小倉さんは、甲府生まれ。

「甲府で生まれて、高校まで甲府にいました。その後は東京、川崎で暮らしましたが、子育てや親のこともあり甲府に戻りました」

—どんな子どもでしたか。

「私が生まれて直ぐ父が召天し、教育者だった祖父・祖母の養子として育てられたので、年寄りっ子（甘えん坊）で真面目な子どもだったと思います。甲府教会で幼児洗礼を受け、日曜学校にも通っていたことがあります」

—お母さん（おばあさん）はノーベル化学賞を受賞された大村智博士を中学校で教えられたそうですね。

「博士は筆まめで、母の生前、海外からも度々絵はがきをいただいていた。母はそれを見せてくれ『大村は努力家で、いずれノーベル賞を授かる人だよ』と嬉しそうに語っていました。先生の本にも母のことが書かれています。良い先生だったのでしょう」

—趣味は何をおやりですか。

「昔は茶道（裏千家）や蒔絵を楽しんでいたのですが、今はドライブやスポーツジムに行き運動することくらいです」

—ボーイスカウト活動にも。

「子どもの頃から活動に参加していましたので、大人になってからも指導者としてメネットと一緒に活動しておりましたが、スカウト（子ども）相手の体力に限界を感じて、今は活動を支援する役割をしています」

—YMCA、ワイズとはどういう縁で。

「甲府教会の礼拝に出席した時に、教会員でメンバーの方々に誘われて入会しました」

—誰に何とって誘われました。

「先ずボーイスカウト活動で大先輩の2人から『開業したならワイズメンズクラブに入りなさい！』でした。続いて他のメンも寄ってきて『良いよ、いいよ〜。推薦するよ〜』てな感じだったと思います。

—入会してみていかがですか。

「色々な方と職業や立場・年齢に関係なく、目的に向かって意見の言い合える（互いを尊重する）土壌が新鮮で楽しく、今まで活動が続いている原点だと思います」

—甲府のワイズメンのYMCAに対する貢献は、まさに地方クラブならではのものがありますね。

「“山梨YMCAの会館建設”が原点で1950年にチャーターしたという甲府クラブの歴史があって、その想い『YMCAのために尽くそう』が強く引き継がれているのだと思います」

—何かをやるときの座右の銘みたいなものをおもちですか。

「ボーイスカウトのモットー、『そなえよつねに』です」

—ワイズの良さは、どこにあると思われませんか。

「YMCAの活動を通して仲間と一緒に次代を担う青少年の育成事業に関われることだと思っています。夢があつて楽しいじゃないですか。そしてブリテンを通して多くの仲間の活動を共有することも魅力だと思います」

—ありがとうございました。

**旅で出会った人 ③**

村野絢子

**カンボジア 岡村真理子さん**

カンボジアに学校を贈る会「ASAC」を知ったのは1994年の暮れだった。カンボジア内戦後、国連UNTACの一員として、カンボジアの実情を見、教育の必要性を痛感した岡村真理子さんが1993年にカンボジア政府公認のNPO「ASAC」を立ち上げた。

1995年最初の1校目が3月末の竣工式、開校式に誘われた。教師で春休み中という事で参加し、岡村夫妻、カメラマンの女性を含め12人のツアーであった。3月23日出発、翌日カンボジアのウシュビッツ「トースレイン収容

所」を見学、翌25日午後2時・日本大使館に今川大使に表敬訪問し、「安全に注意し、よく考えて行って下さい。」と送り出された。

地雷の残る道をひたすら走り、タケオのカンポット大学の跡、ドロ沼に咲く蓮の花を摘んで売る少年、痩せた牛、お寄りした寺院には沢山の頭骸骨が奉られていた。

26日出来上がった校舎に「ツールポレイン校ASACより贈呈」のプレートを付け、パパイアの記念植樹をした。27日式当日、知事・教育委員会の数人・工事関係者・僧侶も5~6人、何処から来たのか沢山の人が集まり、中には自転車に食べ物を乗せ売る人。

登録できた子達だけがユニセフからの教科書とノート鉛筆を配る。初の5教室だけの学校が完成した。真理子さんはクメール語で挨拶をされた。真理子さんは病死されたが、その後もASACは23年間137校の学校・成人識字教育終了者4,600人を超えたが2018年3月閉会した。



カンボジアの寺院でのもてなし。右が岡村真理子さん

**グース合奏団の演奏会**

本川悦子

私の所属しているグース合奏団(ガチョウの集まりではありません)の第2回定期公演が、11月21日(水)に杉並公会堂小ホールでおこなわれました。

グース合奏団は20人くらいの弦楽合奏団です。毎年秋の定期公演を目指して月3回練習をしています。団員は、ほとんどが妙齢な女性ですが、コントラバスは男

性が弾いています。男性の入会を待っているのですが、なかなか集まりません。

昨年は30代の若い男性ピアニスト兼指揮者とモーツァルトのピアノコンチェルト(12番)を演奏しました。今年は、クラシックファンでなくても、ほとんどの方が聴いたことのある、ビバルディの四季のうち、秋、冬、アンコールに夏の3楽章を演奏しました。

ソリストは芸大卒の可愛いお

嬢さんが演奏しました。ソロに聞きほれないで、自分の演奏をしつかり、遅れないようにと何度も注意されました。私はアマチュアばかりの楽団しか経験がないので、緊張の連続でした。

定員190人のホールは8割位のお客様に来ていただきました。赤いドレスを着て、キレのあるソロを弾いていただいたお嬢さんのおかげで演奏会は盛大な拍手をいただきました。また来年も頑張ろうと思った瞬間でした。

**水彩画に挑戦中**

木原洗さんと水彩画の勉強を始めたときから5年が過ぎました。今も、毎月木原さん宅で行っています。なかなか腕は上がりませんが楽しんでます。

12月3日は木原さんが亡くなられて2年が過ぎました。何かあるごとに木原さんが残した絵を見ながら、皆さんと思い出話に花を咲かせています。

先日スケートの教え子との忘年会で描いた絵の写真を見せたら、「えー、こんな趣味を持っているのですか、よく描けていますね」とお世辞を言われ、少し嬉し

くなりました。

先生からは、いつか展覧会をやりたいとの声がありますが、いつのことやらとみんなで笑いながら教室で頑張っています、実行したら見に来てください(いつになるか?)。12月は来年の干支イノシシを題材にした掛け軸(墨絵)の製作に励んでいます。どんなことができますか、毎年失敗をしています。でも楽しんでます。(大野貞次)

**編集後記**

このところ天候が不順で皆さんは体調を崩してはいません

か? 寒暖の差が激しく私は風邪を引き、今ものどが痛く咳も出て難儀をしています。例会には皆さんと元気でお会いしたいものです。

クリスマス例会は女性陣がいろいろ美味しいものを出そうと考えておられる様です。また皆様の差し入れも可です。楽しみましょう。

ところで今回も手配の遅れで完成が遅れてしまいました、編集者といたしましては失格ですね。寄稿していただきました皆様には感謝いたします。ありがとうございました。(T.O)